

## 令和4年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

「夢創造」の教育力と確かな進路実現力を持つリーディング工科高校

- 1 「確かな学力」を身に付けた社会に貢献できる「ものづくりリーダー」を育成する。
- 2 規律・規範の確立と豊かな心を育む教育により、自律心や人を思いやる心を持つ生徒を育成する。
- 3 教員の資質向上を図るとともに、学校の組織力向上に努める。
- 4 地域に信頼される開かれた学校づくりを推進する。

## 2 中期的目標

## 1 確かな学力の育成

(1) 「わかる授業、充実した授業」をめざした授業改善の取組み。

- ア 授業見学を奨励し、公開授業・研究授業・授業アンケート等を活用し、授業改善に取り組む。  
令和3年度の「感染症対策等の学校教育活動継続支援事業費」並びに「校長マネジメント経費」で、普通教室・展開教室(22教室)にプロジェクターを設置した。授業のICT化を進めるとともに、ICTを活用した主体的・対話的な学びの実現について研究を行い、学力の向上を図る。
- イ 教育産業の基礎学力調査を実施し、各学年の学習状況と経年変化を把握し、学習指導の向上を図る。
- ※ 教員の年間授業見学の平均回数を令和6年度には7回にする(R1,R2 未集計,R3 6回)。
  - ※ 授業アンケートの質問5(教材活用)結果の2回平均を令和6年度には3.55にする(R1 3.27,R2 3.36,R3 3.47)。
  - ※ 教員向け学校教育自己診断の設問16「学習指導や教材について精選・工夫を行っている。」の肯定率を令和6年度には94%にする(R1 75.8%,R2 79.6%,R3 91.9%)。
  - ※ 生徒向け学校教育自己診断の設問25「授業中の態度は良好である。」の肯定率を令和6年度には90%にする(R1 79.6%,R2 83.7%,R3 86.0%)。
  - ※ 生徒向け学校教育自己診断の設問23「授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある。」の肯定率を令和6年度には80%にする(R1 59.3%,R2 72.7%,R3 74.9%)。
  - ※ 基礎学力調査における全学年平均のGTZ平均値(国数英)のC1ランク以上を令和6年度には52%にする(R1,R2 全学年未実施,R3 48.3%)。

(2) 工科高校の特徴を生かした授業により、生徒の育成を図る。

- ア PBL(課題解決型学習)手法を取り入れた学習を1年「キャリアデザイン」、2年「総合的な探究の時間」、3年「課題研究」で行い、課題を解決していく過程で様々な能力を育成する。
- イ 各系課題研究発表会及び合同課題研究発表会を実施する。
- ※ 授業アンケートの質問9(生徒意識2)[知識・技術の習得]結果の2回平均を令和6年度には1年「キャリアデザイン」は3.45(R1 PBL手法では未実施,R2 3.44,R3 3.32)、2年「総合的な探究の時間」は3.40(R1,R2とも「課題研究」の代替で開設せず,R3 3.31)、3年「課題研究」は3.50(R1~R3 PBL手法では未実施)にする。
  - ※ 授業アンケートの質問1~9の2回平均を令和6年度には1年「キャリアデザイン」は3.52(R1 PBL手法では未実施,R2 3.49,R3 3.49)、2年「総合的な探究の時間」は3.45(R1,R2とも「課題研究」の代替で開設せず,R3 3.40)、3年「課題研究」は3.52(R1~R3 PBL手法では未実施)にする。
  - ※ 合同課題研究発表会の生徒アンケート肯定率を令和6年度には75%にする(R1~R3とも 中止【参考:H29 70.9%,H30 72.2%】)。

## 2 夢と志を持つ生徒の育成

(1) 豊かでたくましい人間性の育成。

- ア いじめ対応や教育相談体制の充実を図り、生徒の支援を行う。
- イ あらゆる教育活動において人権教育を推進し、生徒の育成を図る。
- ウ 生徒に基本的な生活習慣であるマナーの向上とルールを厳守させ、あいさつの励行や遅刻の減少を推進し、中退防止に努める。
- ※ 生徒向け学校教育自己診断の設問22「いじめをなくし、防止しようとしている。」の肯定率を令和6年度には90%にする(R1 83.7%,R2 84.3%,R3 86.7%)。
  - ※ 生徒向け学校教育自己診断の設問16「保健室や相談室等で気軽に相談できる先生がいる。」の肯定率を令和6年度には60%にする(R1 48.7%,R2 54.2%,R3 52.0%)。
  - ※ 生徒向け学校教育自己診断の設問1「学校生活は満足している。」の肯定率を令和6年度には94%にする(R1 86.2%,R2 87.8%,R3 89.9%)。
  - ※ 生徒向け学校教育自己診断の設問21「人権の大切さを学ぶ機会がある。」の肯定率を令和6年度には88%にする(R1 76.8%,R2 78.2%,R3 83.6%)。
  - ※ 生徒向け学校教育自己診断の設問17「校内では規則・ルールが守られている。」の肯定率を令和6年度には96%にする(R1 85.0%,R2 88.0%,R3 93.1%)。
  - ※ 生徒向け学校教育自己診断の設問26「校内では挨拶がかわされている。」の肯定率を令和6年度には98%にする(R1 89.8%,R2 93.9%,R3 96.8%)。
  - ※ 遅刻件数を令和6年度には400件以下にする(R1 894件,R2 493件,R3 364件)。
  - ※ 中退率を令和6年度には0.4%以下にする(R1 0.58%,R2 0.14%,R3 0.49%)。
  - ※ 保護者向け学校教育自己診断の設問1「今工に入学させて良かった。」の肯定率を令和6年度には98%にする(R1 96.8%,R2 97.5%,R3 94.8%)。
  - ※ 保護者向け学校教育自己診断の設問3「今工は保護者の願いにこたえている。」の肯定率を令和6年度には92%にする(R1 94.6%,R2 90.1%,R3 87.3%)。

(2) 生徒の自己実現に向けた支援を図る。

- ア 生徒が望ましい勤労観・職業観を身に付けるため、企業や大学等と連携を行い、キャリア・パスポートの活用も含めてキャリア教育・職業教育の充実を図るとともに、様々な資格に挑戦できるよう、日々の学習活動や放課後に指導を行い、頑張る生徒を支援する。
- イ きめ細かな進路指導を行い、就職・進学希望者等の多様な進路希望の実現を図る。
- ウ 卒業3年後の離職率調査を継続し、就職指導を充実させる。
- ※ 生徒向け学校教育自己診断の設問28「今工生であることに誇りを持っている。」の肯定率を令和6年度には82%にする(R1 72.4%,R2 76.6%,R3 78.1%)。
  - ※ 生徒向け学校教育自己診断の設問29「平日の授業以外での学習の時間はどれくらいですか(補習・塾等含む)。」の1時間以上を令和6年度には28%にする(R1 16.2%,R2 22.2%,R3 22.2%)。
  - ※ 資格取得総数を令和6年度には480件にする(R1 543件,R2 453件,R3 460件)。
  - ※ 3年生のSPIテストの総合点を令和6年度には65点にする(R1 61.2点,R2 58.7点,R3 62.4点)。
  - ※ 生徒向け学校教育自己診断の設問13「進路の情報をよく知らせてくれる。」の肯定率を令和6年度には96%にする(R1 87.8%,R2 91.7%,R3 93.4%)。
  - ※ 就職一次内定率85%以上を目標とする(R1 86.9%,R2 88.5%,R3 78.9%)。
  - ※ 進路実現度100%(就職率・進学率)を目標とする(R1 98.1%(97.4%・98.6%),R2 98.1%(99.0%・95.5%),R3 99.6%(99.4%・100%))。
  - ※ 離職率[H31.3卒]25%以下を目標とする(R1 [H28.3卒] 9.9%,R2 [H29.3卒] 31.9%(全系調査せず),R3 [H30.3卒] 19.1%)。

## 3 安全安心で魅力ある学校づくり

(1) 工科高校の魅力を発信し、志願者の安定的確保を図る。

- ア 出前授業や地域連携等を積極的に行い、広報活動に努める。
- イ 中学校訪問や学校説明会の充実を図り、工科高校の魅力発信に努める。
- ウ 入学者選抜の志願者倍率を総合募集・工学系ともに1倍以上確保する。
- ※ 出前授業や地域連携等の参加を令和6年度には13回以上参加する(R1 8回,R2 8回,R3 11回)。
  - ※ 1年生の出身中学校訪問を令和6年度には35名にする(R1 31名,R2 コロナ禍で中止,R3 20名)。
  - ※ 教員の中学校訪問を令和6年度には60校にする(R1 60校,R2 30校,R3 45校)。

<p>※ 学校説明会を令和6年度には35回以上参加する（R1 34回, R2 1回, R3 37回 [含個別対応]）。</p> <p>※ 生徒向け学校教育自己診断の設問27「校内では、清掃がいきとどいている。」の肯定率を令和6年度には85%にする（R1 65.4%, R2 72.9%, R3 76.5%）。</p> <p>※ 教員向け学校教育自己診断の設問27「この学校では、清掃がいきとどいている。」の肯定率を令和6年度には80%にする（R1 67.6%, R2 50.0%, R3 62.5%）。</p> <p>※ 全体の志願者倍率（全体 [総合募集・工学系]）を、毎年1倍以上確保する（R1 1.12倍 [1.18倍・0.86倍], R2 0.83倍 [1.12倍・0.83倍], R3 1.00倍 [1.03倍・0.83倍]）</p> <p>(2) 生徒の潜在能力を高め、部活動を含めた様々な大会で成果を出し、近畿大会や全国大会で上位入賞をめざす。</p> <p>ア 部活動加入を推奨し、「部活動に係る活動方針」に則った活動と、環境整備や安全対策の強化を図る。</p> <p>イ 課題研究や部活動等の大会を通じて、上位入賞をめざす。</p> <p>※ 部活動加入率を令和6年度には63%以上にする（R1 58.9%, R2 62.8%, R3 55.0%）。</p> <p>※ 全工協会のコンテストや部活動等で継続して近畿大会・全国大会の出場・上位入賞をめざす（R1 陸上競技部・日本拳法部・鉄道研究部・放送部, R2 陸上競技部・水泳部, R3 陸上競技部・水泳部・日本拳法部・放送部・鉄道研究部・山岳スキー部）。</p>
<p>4 働き方改革の推進</p> <p>(1) 「より働きやすい職場環境づくり」を推進するため、ストレスチェック結果を踏まえて安全衛生委員会で議論を行い、改善策は図っていく。</p> <p>※ ストレスチェック結果における「量的負担・仕事の負担リスク・総合リスク」を、毎年基準値（8.7・100・100）より低く抑える（R1 8.5・100・99, R2 8.6・104・113, R3 8.9・102・111）。</p> <p>(2) 学校保健委員会、安全衛生委員会を活性化するとともに、「大阪府部活動の在り方に関する方針」・「府立学校における働き方改革に係る取組みについて」などを踏まえ、生徒・教職員の健康管理体制を充実させる。</p> <p>※ 在校等時間管理に努め、時間外勤務者のうち月80時間以上を令和6年度には5名以内に（在校等時間外はR3から本格実施, R3 10名【参考：従来の時間外集計ではR1 9名, R2 11名, R3 9名】）。</p> <p>※ 教員の年間1人当たり平均の在校等時間外を毎年360時間以内に抑制する（在校等時間外はR3から本格実施, R3 327.6時間【参考：従来の時間外集計ではR1 306.2時間, R2 268.5時間, R3 276.7時間】）。</p>

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和5年1月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>【結果(上位)】</p> <p>■生徒結果で肯定率の上位8位まで</p> <p>1位「高校生活は、人間形成に大切な時期である」 95.7% (R3 95.8% 2位)</p> <p>2位「校内では、挨拶がかわされている」 94.8% (R3 96.8% 1位)</p> <p>3位「校内では規則・ルールが守られている」 91.4% (R3 93.1% 4位)</p> <p>4位「学校は、進路についての情報をよく知らせてくれる」 91.2% (R3 93.4% 3位)</p> <p>5位「先生は、責任をもって、授業やその他の仕事に当たっている」 90.5% (R3 91.8% 5位)</p> <p>6位「この学校には、他の学校にない特色がある」 89.0% (R3 89.9% 6位)</p> <p>7位「学校行事は、みんなが楽しく参加できるように考えられている」 86.7% (R3 88.9% 8位)</p> <p>8位「今今の学校生活は満足している」 86.2% (R3 89.9% 6位)</p> <p>□生徒結果の分析</p> <p>上位8位までの設問項目は、R3とすべて同一であった。</p> <p>上位5位までの肯定率は、R3と同様90%以上である。</p> <p>上位8位までの肯定率は、R3よりすべて低下している。肯定率の低下は微減ではあるが、来年度は生徒の意識がさらに向上できるように、教職員で指導を行ってきたい。</p> <p>◆保護者結果で肯定率の上位4位まで</p> <p>1位「将来の進路や職業について、適切な指導を行っている」 98.4% (R3 95.7% 1位)</p> <p>2位「お子さんを今工に入学させて良かったと考えている」 96.9% (R3 94.9% 2位)</p> <p>2位「教員は、熱心に指導に当たってくれている」 96.9% (R3 91.3% 3位)</p> <p>4位「いじめについて、困っていれば真剣に対応してくれる」 96.0% (新規)</p> <p>◇保護者結果の分析</p> <p>上位3位までの設問項目（同点で2項目）は、R3とすべて同一であった。</p> <p>上位3位までの肯定率は、R3よりすべて上昇している。</p> <p>入学・進路指導・熱心な指導については、R3に続き肯定率が高く、継続して指導していきたい。</p> <p>【結果(下位)】</p> <p>■生徒結果で肯定率の下位8位まで</p> <p>1位「将来の進路に不安はない」 49.1% (R3 46.8% 1位)</p> <p>2位「部活動に積極的に取り組んでいる」 53.3% (R3 51.5% 2位)</p> <p>3位「担任以外にも保健室や相談室等で気軽に相談することができる先生がいる」 59.2% (R3 52.0% 3位)</p> <p>4位「自分には将来の夢や目標がある」 71.6% (R3 68.9% 4位)</p> <p>5位「学校生活についての先生の指導は、納得できる」 71.9% (R3 75.5% 6位)</p> <p>6位「今工生であることに誇りを持っている」 73.0% (R3 78.1% 8位)</p> <p>7位「生徒1人1人端末を効果的に活用している」 74.9% (新規)</p> <p>8位「授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある」 76.3% (R3 74.9% 5位)</p> <p>14位「校内では、清掃がいきとどいている」 &lt;参考&gt; 83.1% (R3 76.5% 7位)</p> <p>□生徒結果の分析</p> <p>下位8位までの設問項目は、7位の新規項目を除きR3とすべて同一であった。</p> <p>下位4位までの肯定率は、R3よりすべて上昇している。</p> <p>下位3位と4位の肯定率の差が大きい。生徒の不安や活動に参加しやすい環境整備、教員と生徒との間でメリハリのある指導の中でも相談しやすい体制づくりと相談室のさらなる啓発を行う。</p> <p>下位7、8位の項目は、ICT活用の促進と授業改善をさらに図る必要がある。</p> <p>下位14位(R3 7位)は、技術職員退職で、業務がアウトソーシングにより業者委託となり、清掃業務が日々確認できるためと思われる。</p> <p>その他の質問項目は、全体的に微増・微減であり、さらなる向上を図るため、教職員全員が結果を共有し、改善に向けて対応策を検討する。</p> <p>◆保護者結果で肯定率の下位4位まで</p> <p>1位「授業参観や学校行事等に参加したことがある」 70.9% (R3 51.2% 1位)</p> <p>2位「授業公開をするなど、開かれた学校づくりに積極的だと思う」 80.8% (R3 69.7% 2位)</p> <p>3位「施設・設備は、学習環境の面で満足できる」 81.9% (R3 79.1% 3位)</p> <p>4位「お子さんは、授業がわかりやすいと言っている」 85.7% (R3 80.4% 4位)</p> <p>◇保護者結果の分析</p> <p>下位4位までの設問項目は、順位も含めてR3とすべて同一であった。</p> <p>下位4位までの肯定率は、R3よりすべて上昇している。</p> <p>下位1、2位は、コロナ禍により制限している結果が反映されていると思われる。</p> <p>下位3位は、学校予算だけでは解決できない項目である。</p> <p>下位4位は、R3より上昇しているが、教員のさらなる取組みが必要である。</p> <p>▽保護者の自由記述 (63件)</p> <p>要望が多い意見：①生徒用ロッカー設置10件、②保護者連絡・情報発信7件</p> <p>長年要望が多かった生徒用ロッカーをR4.9教室内に設置。他に生徒用ロッカー設置は、施設面で場所がありません。保護者連絡・情報発信は、ご意見を踏まえて改善します。</p>	<p>■第1回（7/14）開催</p> <p>○企業等連携について</p> <p>参加生徒を増やすとともに、学校ホームページ等で学校PRをして欲しい。</p> <p>○工学系の基礎力診断テストについて</p> <p>1年生から学力の底上げを行うとともに、大学に通いたい気持ちを高めるために、大学連携をさらに強化して欲しい。</p> <p>○時間外在校等時間（残業時間）について</p> <p>先生方の働き方改革に向けて、時間外在校等時間の削減に今後も継続して取り組んで欲しい。</p> <p>■第2回（12/2）開催</p> <p>○生徒指導について</p> <p>柔軟な考え方ができるような指導、基本的なルールを守ることを身に付ける教育を、今後も行って欲しい。</p> <p>○進路指導状況について</p> <p>昨年同様、今宮工科高校の求人倍率は良く、また一次内定率も91.1%と非常に高い。今後も生徒の進路実現のため、学校全体で進路指導に取り組んで欲しい。</p> <p>○広報活動について</p> <p>少子化が進む中、広報等について学校も非常に努力している。来年度入学者選抜で志願者数が増加できるよう、引き続き広報活動を頑張ってもらいたい。</p> <p>■第3回（2/24）開催</p> <p>○自己評価の結果について</p> <p>今年度結果(案)では、昨年度結果より微減(△)と判断されている。しかし、経年変化を確認すると、(○)と判断してもよいと思われる項目が4項目ある。</p> <p>具体的には、【1(1)ア】の授業アンケート質問5、教員向け学校教育自己診断結果「指導・教材への工夫等」、【2(1)ア】の生徒向け学校教育自己診断結果「いじめ対応」、【2(2)イ】の生徒向け学校教育自己診断結果「進路情報連絡」の4項目である。</p> <p>全体的に、数値目標を明確にされたうえで、取組み成果が着実に向上している。</p> <p>気になるのは入試倍率で、希望調査では0.9倍を超えているが、最終結果がどうかである。</p>

## 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R3年度値]	自己評価
1 確かな学力の育成	(1)「わかる授業、充実した授業」をめざした授業改善の取組み ア 授業改善と授業のICT化による学力向上	ア・授業見学により自身の指導方法等の改善を図る(回数は自己申告票の目標設定面談で確認)。 ・教材活用にICT機器の利用を推奨し、授業アンケート結果の向上を図る。 ・各教科でR3授業アンケート結果を検証した結果を基に、PDCAサイクルによる向上を図る。 ・様々な機会を通じて授業態度について啓発を行い、向上を図る。  ・各教科でICT機器を活用して発表するなどの場面を計画・実施し、向上を図る。	ア・教員の年間授業見学の平均回数6回[6回]  ・授業アンケート質問5(教材活用)結果の2回平均3.50[3.47] ・教員向け学校教育自己診断結果の「指導・教材の工夫等」への肯定率92%[91.9%] ・生徒向け学校教育自己診断結果の「授業態度」への肯定率88%[86.0%] ・生徒向け学校教育自己診断結果の「考えのまとめ、発表の機会」への肯定率77%[74.9%]	ア・平均6.7回(O)  ・3.46(O) ①3.46、②3.45 (以下、第1回を①、第2回を②で表示) ・89.6%(O) A27.1%、B62.5% (以下、よくあてはまるをA、ややあてはまるをBで表示) ・84.1%(Δ) A37.3%、B46.8%  ・76.3%(O) A28.2%、B48.1%
	イ 基礎学力調査の学習状況と経年変化による指導向上  (2) 工科高校の特徴ある授業による生徒育成 ア PBL手法を取り入れた学習による能力の育成	イ・国数英の基礎学力調査結果を教科で検討し、課題を踏まえて学習指導の向上を図る。  ア・PBL手法を「キャリアデザイン」、「総合的な探究の時間」、「課題研究」で取り入れ、生徒の様々な能力を育成する。  ・PBL手法を新たに取り入れた科目の授業アンケート結果を踏まえ、手法や指導書をブラッシュアップし、向上を図る。	イ・基礎学力調査の全学年平均C1ランク以上50%[48.3%]  ア・授業アンケート質問9(生徒意識2)[知識・技術の習得]結果の2回平均 1年「キャリアデザイン」3.40[3.32] 2年「総合的な探究の時間」3.35[3.31] 3年「課題研究」3.45[BPL手法では未実施] ・授業アンケート質問1～9の2回平均 1年「キャリアデザイン」3.50[3.49] 2年「総合的な探究の時間」3.42[3.40] 3年「課題研究」3.48[PBL手法では未実施]	イ・全体44.4%(Δ) ①43.7%、②45.6%(3年未受験) 総合募集39.4% ①39.5%、②39.2% 大学進学専科68.3% ①63.6%、②75.4%
	イ 課題研究発表会の実施	イ・各系・合同の課題研究発表会を実施する。	イ・合同課題研究発表会の肯定率73%[未実施]	ア・1,3年は目標達成(O) 1年「キャリアデザイン」質問9平均3.44 ①3.45、②3.42 2年「総合的な探究の時間」質問9平均3.30 ①3.25、②3.35 3年「課題研究」(合同班)質問9平均3.76 ①3.81、②3.70  ・1,3年は目標達成(O) 1年「キャリアデザイン」平均3.54 ①3.54、②3.53 2年「総合的な探究の時間」平均3.41 ①3.37、②3.45 3年「課題研究」(合同班)平均3.71 ①3.74、②3.67  イ・合同課題研究発表会 Web会議システムを使用した発表会見やすさの肯定率28.9%(Δ) ※オンラインによる発表形式は初めての取組みで、映像がカクつき分りにくいという意見が多かった。
2 夢と志を持つ生徒の育成	(1) 豊かでたくましい人間性の育成 ア いじめ対応や教育相談体制の充実	ア・年2回のいじめアンケート実施や教員への相談を行うよう促し、いじめ案件は迅速な対応を行う。 ・担任以外に各クラスのアシスト教員2名が支援できる体制づくりと相談室の啓発を行う。  ・様々な機会を通じて生徒から学校生活に関して意見を聴取し、改善等の向上を図る。	ア・生徒向け学校教育自己診断結果の「いじめ対応」への肯定率88%[86.7%] ・生徒向け学校教育自己診断結果の「相談できる先生」への肯定率55%[52.0%] ・生徒向け学校教育自己診断結果の「学校生活満足度」への肯定率91%[89.9%]	ア・85.6%(O) A40.0%、B45.6%  ・59.2%(◎) A22.9%、B36.3%  ・86.2%(Δ) A40.1%、B46.1%
	イ 人権教育の推進 ウ 基本的な生活習慣と中退防止	イ・様々な機会を通じて人権教育の啓発を行い、生徒の育成を図る。  ウ・様々な機会を通じてマナー・ルールの厳守を促し、基本的な生活習慣を身に付けさせる。  ・様々な機会を通じてあいさつの励行を促し、人としての礼儀を身に付けさせる。  ・様々な機会を通じて遅刻の減少を促し、基本的な生活習慣を身に付けさせる。 ・常に遅刻・欠席・学力状況を把握し、中学校や保護者との連携により中退防止に努める。 ・R3学校教育自己診断の保護者コメント、PTA、1年担任の保護者面談からの意見聴取を踏まえ、課題点を解決していく。 ・R3学校教育自己診断の保護者コメントやPTA、担任の保護者面談からの意見聴取を踏まえ、課題点を解決していく。	イ・生徒向け学校教育自己診断結果の「人権を学ぶ機会」への肯定率85%[83.6%] ウ・生徒向け学校教育自己診断結果の「校内ルールの厳守」への肯定率94%[93.1%] ・生徒向け学校教育自己診断結果の「あいさつの励行」への肯定率97%[96.8%] ・遅刻件数420件[364件]  ・中退率0.5%[0.49%]  ・保護者向け学校教育自己診断結果の「今工への入学」への肯定率96%[94.8%] ・保護者向け学校教育自己診断結果の「保護者の願いにこたえる」への肯定率90%[87.3%]	イ・82.6%(Δ) A34.8%、B47.8%  ウ・91.4%(Δ) A42.0%、B49.4%  ・94.8%(Δ) A60.2%、B34.5%  ・448件(Δ)  ・1.03%(Δ)(6名/581名) 転学率3.61%(21名/581名) ・96.9%(◎) A73.2%、B23.7%  ・91.3%(◎) A35.4%、B55.9%

	<p>(2) 生徒の自己実現への支援 ア キャリア教育・職業教育の推進</p> <p>イ 進路指導の充実と進路実現</p> <p>ウ 離職率調査と就職指導</p>	<p>ア・様々な機会を通じて生徒に今工の良さを啓発し、プライドと誇りを養う。</p> <p>・授業で課題等を提供し、授業以外での学習時間を継続的に行う習慣を身に付けさせる。</p> <p>・職業教育の充実を図り、成功体験を醸成するため、資格取得の推奨を図る。</p> <p>イ・自身の適性を図るためのテストを実施し、進路選択に役立てる。</p> <p>・進路実現を図るため、生徒にきめ細かな進路情報を提供する。</p> <p>・自身の適性を踏まえ、企業情報を基に就職試験を合格するための努力を促す。</p> <p>・卒業時には、3年生全員が進路実現を図れるよう指導する。</p> <p>ウ・就職希望者には、卒業3年後の離職率調査を踏まえ、企業選択の指導を行う。</p>	<p>ア・生徒向け学校教育自己診断結果の「今工生としての誇り」への肯定率80%[78.1%]</p> <p>・生徒向け学校教育自己診断結果の「授業以外で1時間以上の学習時間」の生徒24%[22.2%]</p> <p>・資格取得総数450件[460件]</p> <p>イ・3年SPIテスト総合点63点[62.4点]</p> <p>・生徒向け学校教育自己診断結果の「進路情報連絡」への肯定率94%[93.4%]</p> <p>・就職一次内定率85%以上[78.9%]</p> <p>・進路実現度(就職率・進学率)100%[99.6%(99.4%・100%)]</p> <p>ウ・離職率(H31.3卒)25%以下[19.1%]</p>	<p>ア・73.0% (△) A29.8%、B43.2%</p> <p>・19.9% (△)</p> <p>・543件 (◎)</p> <p>イ・63.5点 (◎) 参考：全国平均51.9点</p> <p>・91.2% (○) A49.1%、B42.1%</p> <p>・91.1% (◎) 一次内定者123名/就職受検者135名</p> <p>・98.0% (99.3%・94.7%) (△) 全体197名/201名=98.0% 就職率142名/143名=99.3% 進学率55名/58名=94.8%</p> <p>ウ・20.4% (◎) 離職者37名/就職者181名</p>
<p>3 安全安心で魅力ある学校づくり</p>	<p>(1) 工科高校の魅力発信と志願者確保 ア 広報活動 イ 工科高校の魅力発信</p> <p>ウ 入学者選抜の志願者確保</p> <p>(2) 部活動を含む大会での上位入賞 ア 部活動加入の推奨 イ 課題研究・部活動等の上位入賞</p>	<p>ア・出前授業・地域連携等の広報活動を行い、工科高校の良さをPRする。</p> <p>イ・1年「キャリアデザイン」の取組みとして、生徒が出身中学校へ訪問し、学校PRを行う。</p> <p>・3年間の入試受験実績を基に、中学校を訪問し、学校PRを行う。</p> <p>・中学校や地区別での学校説明会に参加し、学校PRを行う。</p> <p>・生徒に学校環境の維持・改善を図る5Sを指導し、学校美化に努めさせる。</p> <p>・教職員に職場環境の維持・改善を図る5Sを推進し、学校美化を指導させる。</p> <p>ウ・上記ア、イの取組みを図り、入学者選抜の志願者倍率を確保する。</p> <p>ア・新入生にクラブ説明会を実施し、体験期間を設け、1年担任からも加入を推奨させる。</p> <p>イ・課題研究や部活動等で近畿大会や全国大会に出場して上位入賞をめざす。</p>	<p>ア・出前授業・地域連携等の回数10回以上[11回]</p> <p>イ・1年生出身中学校訪問25名[20名]</p> <p>・教員中学校訪問50校[45校]</p> <p>・学校説明会の参加30回[37回]</p> <p>・生徒向け学校教育自己診断結果の「校内清掃」への肯定率80%[76.5%]</p> <p>・教員向け学校教育自己診断結果の「校内清掃」への肯定率70%[62.5%]</p> <p>ウ・全体の志願倍率1倍以上[1.00倍]</p> <p>ア・部活動加入率58%[55.0%]</p> <p>イ・様々な大会での上位入賞の成果[6クラブ]</p>	<p>ア・14回 (◎) 出前授業6回、地域連携等8回</p> <p>イ・5名 (△) その他、硬式野球部員20名訪問あり ※訪問できない中学校や、訪問日に体調不良で訪問できない生徒等あり</p> <p>・34校 (△) ※1月下旬から2月上旬の訪問予定は、教員のコロナ・インフル感染が多数あり、代講で実施できず</p> <p>・34回 (◎) [個別対応8回含む]</p> <p>・83.1% (◎) A36.2%、B46.9%</p> <p>・83.3% (◎) A22.9%、B60.4%</p> <p>ウ・0.96倍 (△) 全体201名/210名 0.92倍 総合募集164名/175名 0.94倍 進学専科37名/35名 1.06倍</p> <p>ア・57.7% (○) (335名加入/581名生徒数) 運動部231名、文化部+同好会104名</p> <p>イ・6系・クラブ (○) (2/20現在) グラフィックデザイン系(全国)、陸上競技部(近畿)、日本拳法部(全国)、山岳スキー部(全国)、鉄道研究部(全国)、放送部(全国)</p>
<p>4 働き方改革の推進</p>	<p>(1) ストレスチェック結果を踏まえた改善</p> <p>(2) 生徒・教職員の健康管理体制の充実</p>	<p>・ストレスチェック結果を踏まえて安全衛生委員会で議論し改善を図る。</p> <p>・学校保健委員会、安全衛生委員会を活性化して生徒・教職員の健康管理体制を充実させる。</p>	<p>・量的負担・仕事の負担リスク・総合リスクを基準値(8.7・100・100)以下[8.9・102・111]</p> <p>・在校等時間外月80時間以上を8名以内[10名]</p> <p>・平均在校等時間外年360時間以内[327.6時間]</p>	<p>・8.9・99・99 (◎)</p> <p>・9名 (△)</p> <p>・334.3時間 (◎)</p>